

「乳腺内分泌外科診療記録を利用したデータベースの包括的後ろ向き研究」

のご協力お願い

東京大学医学部附属病院乳腺内分泌外科では、乳癌をはじめとする乳腺疾患、甲状腺癌をはじめとする甲状腺疾患、副甲状腺機能亢進症をはじめとした副甲状腺疾患を診療しています。手術はもとより、必要に応じ診断、薬物療法なども実施しております。目的は術後合併症の軽減による短期的な成績のみならず、腫瘍疾患であれば再発率低下、生存率向上などの長期的な視点での外科治療成績の向上を目指しております。治療に当たってはわが国、あるいは諸外国における様々な大規模臨床試験の結果、治療ガイドラインに準拠しておりますが、未だ解決されていない問題も多いのが現状です。

このような問題を解決するためには、前向き研究（研究目的が決定した後に患者さんをいくつかの群に振り分けさせていただき、その経過を追わせていただく研究）が重要ですが、その基盤として後ろ向き研究（過去の診療記録・データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究）が非常に重要です。

それゆえ、当科では、東京大学医学部附属病院乳腺内分泌外科を受診された患者さんの過去の診療記録・データを解析致します。対象となる診療記録は、

カルテ記載内容（既往歴、家族歴、現病歴、生活歴、身体所見、症状、治療履歴）、投与薬剤、最終受診日、転帰、手術記録、麻酔記録（手術時間、出血量、輸液量、使用薬剤）血液検査（血算、生化学、血糖関連、凝固、腫瘍マーカー、血液ガス、内分泌関連）、尿・便検査、生理学検査（心電図、肺機能検査、超音波検査）、画像検査（マンモグラフィ、単純X線、CT、MRI、PET、血管造影、核医学検査）、内視鏡検査、病理組織検査、免疫組織検査、細菌学的検査、他科での診察情報、他科での手術情報 と、過去に行われた日常診療に基づくものです。

この研究は過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在、未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削減されます。

この研究に関してご不明な点がある場合、あるいはデータの使用に同意されない場合には、以下にご連絡頂きたらと存じます。尚、本研究は、医学部倫理委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当科における診療、治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

2017年5月30日

連絡先 東京大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 多田敬一郎（研究責任者）

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5800-9730 乳腺内分泌外科